

吉田富三 生誕110周年記念 シンポジウム



平成25年9月8日（日）郡山市・市民交流プラザ（ビッグアイ）において『吉田富三生誕110周年記念シンポジウム』を開催いたしました。

第1部は、『吉田富三先生の業績とお人柄』をテーマに、福島県立医科大学副学長の阿部正文先生をナビゲーターにお迎えし、「人とそのお仕事」と題し、がん研究会顧問の菅野晴夫先生が、「業績の現代的意義」を順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授の樋野興夫先生が講演。そして「長崎時代のお仕事」と題し、長崎大学医学部長の下川功先生からご講演をいただきました。

第2部は、『がんから始まる 体験者のメッセージ』をテーマに、エッセイストの岸本葉子さんからご講演をいただきました。

講演の最後に福島県立医科大学附属病院臨床腫瘍センター長の石田卓先生の司会進行で、博上とのエピソードや原発、放射能の影響などに至るまで幅広い内容で討論が行われました。

シンポジウムには吉田富三顕彰会員や会員の家族など町内外、県外からもたくさんの方にご参加をいただきました。



写真右 下川功氏

写真下左から 内田宗寿氏、岸本葉子氏、菅野晴夫氏、樋野興夫氏、阿部正文氏、石田卓氏

